

## シャークスキン（鮫革）

### 素材の特徴

- 革の凹凸（シボ）があり、色の濃淡が出て模様に見えるのが特徴です。独特の美しいシボと使うほどに柔らかさを増す高級皮革です。水に強く、高い強度があり、擦り傷が付きにくい皮革です。  
鮫革は養殖が不可能で収穫が安定しておらず、ワニ革やオーストリッチ革にも負けないぐらい希少な天然素材です。
- キズに強い。もともとの表面の鮫肌（ザラザラの革）の部分は、戦国時代は武士の鎧に使われ、刀や槍を通さないほどに強い革です。現在でも大工のヤスリやワサビおろしにも使われています。
- 鎧に使われていたことから、『身を守ってくれる』ものといわれ、お守りや縁起かつぎで、鮫にまつわるものを身につけると良いとされています。着物の鮫小紋柄もそこからの流れの様です。
- 鮫といっても、人食い鮫の様な大きな鮫ではなく、ヨシキリザメという体長 30～50 センチの小さな鮫です。  
雄と雌が噛み付きあう習性があり、原皮にはキズや歯の穴がたくさんあります。そこを除いて革を使用するため、1点のバッグを作るのに 3 枚～6 枚の革が必要になります。  
また、一匹、一匹人間の指紋の様に天然の模様が違うため、近い模様であわす必要があります。  
ただ数枚革があれば作れるというわけではなく希少な革を何百枚集めて、数点おつくり出来るほどのものです。
- 使い込むほどに、手の油分で磨かれ、色が濃くなり、ツヤが出てきれいな表情に仕上がっていきます。

## バッグの特徴

- ・冠婚葬祭（正式な場）にお持ちいただけます。一般的に正式な場（冠婚葬祭）に、四足動物（仏教で言う畜生）の革製品を持ち込むことは嫌われます。シャークスキンは四足動物の殺生にあらず、昔から正式な場でお持ちいただける素材です。  
また、同窓会やお食事会など、いざという時にも大活躍です。大人の女性のお道具のひとつとしてお持ちいただけるハンドバッグです。
- ・和洋兼用タイプです。お留袖でもお持ちいただけます。
- ・年齢、季節、はやりすたりに影響されません。親子二代でもご愛用いただけます。
- ・用途にあわせて正面金具をお使いいただけます。持って出掛ける場所の幅が広がります。  
またショルダーにもなり、一つのバッグで三通りの楽しみ方ができます。
- ・日本の熟年の職人が一つ一つ丁寧に仕上げております。

## 商品に関するお願い

- ・天然素材の特性をいかし、自然な感じを損なわない様仕上げております。このため、完全な色止め加工を施しておりませんので、水に濡れたり、日光にさらされたりしますと、色落ち、風合いが変わることがございます。
- ・天然皮革は湿気を嫌います。高温多湿はカビ発生の原因になりますので、ご使用になられないときは、乾燥した涼しい場所に保管してください。
- ・濡れた場合は乾いたやわらかい布等でやさしくおさえる様にして、水分を吸い取り陰干ししてください。